



横浜市立恩田小学校 学校だより 4月号

発行 平成31年4月5日



新たな出会いを大切に

校長 古屋 澄人

校庭の花壇の色とりどりのチューリップ、パンジー、ビオラの花々、そして桜が登校する子どもたちを迎えました。平成に代わる新しい元号が「令和」と決まった4月、平成31年度がスタートしました。保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。

新学期は新1年生を86名迎え、全校児童477名でのスタートとなりました。4月は子どもたちにとっても職員にとっても、そして保護者や地域の皆様にとっても新たな出会いの季節になります。そんな出会いを大切に、平成31年度のスタートをきることができたらと願っております。

さて、昨年度お知らせしました通り、今年度は、次の通り新しい学校教育目標のもと恩田小学校の教育活動を展開していきます。

自ら学び ともに豊かな生活を創り出す子どもの育成

おもいやり すすんで行動 だれとも協力 恩田の子

また、夢と希望にあふれた未来を創る担い手を目指し、主体性・多様性・協働性を重視した恩田小学校が目指す子どもの姿を次のように設定しました。

- 知** 自ら問題を発見し、課題解決に向けて主体的に考え、身に付けた知識や技能を生活に生かし、はたらかせる子
身近にある出来事を多面的・多角的にとらえて課題を見つけ出し、その解決に向けて取り組むプロセスとゴールをイメージしながら学びを進めていけるようにします。そして、身に付けた知識や技能を実生活につなげ働かせる子どもを育んでいきます。
- 徳** 自ら正しい判断を行い、他者の立場や気持ちを思いやり尊重しあって生活する子
自らをかわがえのない存在として捉え、生活の中で課題に直面した時によりよく生活するために自分の主体性も大切にしながら判断できるようにしていきます。そして、相手の立場や気持ちを大切にしながら行動できる子どもを育んでいきます。
- 体** 心身の健康に関心をもち、自ら進んで運動を継続的に行い、心身ともにたくましく生きる子
自分自身の心身の健康の保持増進に関心をもち、体を動かすことの楽しさや心地よさを味わうことができるようになっていきます。そして、心身ともに豊かでたくましく生きる子どもを育んでいきます。
- 公** 自分の役割やはたらくことの意義を理解し、地域や社会のために他者と協働しながら課題解決に向けて取り組む子
自立に向けて自分の役割や責任を理解し確実に果たすことができるようにしていきます。そして、地域や社会のために自分ができることを考えて、他者と協働しながら課題解決に向けて取り組む子どもを育んでいきます。
- 開** 自他の違いを受け止めともに生きる力を育み、グローバルな視野をもって持続可能な社会の実現に向けて行動する子
自他との違いを受け止め、価値観が違う人ともコミュニケーションをとることができ、新たな知識を得たり考えを広げたりできるようにしていきます。そして、持続可能な社会をつくる担い手として身近なことから行動できる子どもを育んでいきます。

保護者および地域の皆様には、昨年度に引き続き恩田小学校のファミリーの一員として、学校・保護者・地域がつながりあって恩田小学校を支えていただきますよう1年間よろしく願いいたします。